

英語

年度	区分	番号	項目	内容
2023	一般A日程 地域共創全専攻	[1]	読解	内容説明、英文和訳、内容真偽
		[2]	文法・語彙	空所補充
		[3]	会話文	空所補充
		[4]	文法・語彙	語句整序
	地域共創(英語)	[1]	リスニング	内容説明、内容真偽
		[2]	読解	空所補充、内容説明、英文和訳、内容真偽
		[3]	英作文	和文英訳
	一般B日程	[1]	読解	内容説明、英文和訳、語句意、内容真偽
		[2]	文法・語彙	空所補充
		[3]	会話文	空所補充
		[4]	文法・語彙	語句整序
2022	一般A日程 地域共創全専攻	[1]	読解	内容説明、英文和訳、内容真偽
		[2]	文法・語彙	空所補充
		[3]	会話文	空所補充
		[4]	文法・語彙	語句整序
	地域共創(英語)	[1]	リスニング	内容説明、内容真偽
		[2]	読解	内容説明、英文和訳、内容真偽
		[3]	英作文	和文英訳

(注) 一般選抜B日程は2023年度から掲載。

傾向

基本的な長文読解力、口語的表現力、文法・語彙とオールラウンドな実力をみる良問

① 出題形式は?

一般選抜A日程・B日程とも試験時間は60分で、大問4題の出題となっている。A日程の英語専攻を受験する場合は、さらにリスニングを含む試験が課され、試験時間50分で大問3題の出題となっている。

A日程・B日程とも一部記述問題もあるが、例年、選択問題を中心である。A日程の英語専攻では、英文和訳や和文英訳などの記述問題が大きな比重を占めている。なお、設問文はすべて日本語である。

② 出題内容はどうか？

長文読解：内容真偽などの選択式問題のほか、英文和訳や内容説明などの記述問題が出題されている。

会話文：日常的な会話文を材料に選択肢の中から文脈に合う文を選ぶ形式である。

文法・語彙：空所補充が中心で、文法・語法の基本的知識を問うものが多い。ほかに語句整序も例年出題されている。

英作文：A日程の英語専攻で出題されている。一続きの和文を3間に分割した形式である。

リスニング：A日程の英語専攻で出題されている。2部構成で、英語での会話を聞いて答える問題と、英文を聞いて答える問題が出題されている。

③ 難易度は？

出題される長文はおおむね標準的なものといってよいが、内容真偽をはじめ、文法・語彙の選択問題には、まぎらわしい選択肢が含まれていることがあるので、注意が必要である。語句整序は、英文の構造をしっかりつかんでいればそう難しい問題ではない。A日程の英語専攻の問題は分量も多く、内容も骨のあるものになっている。長文読解は20～30分、その他は1問あたり1分ほどで解答できるよう準備しておきたい。

対 策

① 読解力

例年、内容真偽を問う問題が出題されている。パラグラフリーディングにより、効率よくかつ正確に内容を把握する方法を会得してほしい。比較的やさしい英文を数多く読みこんで、内容把握の練習をしておくとよい。また、毎年記述問題が出題されているので、『やっておきたい英語長文300』（河合出版）などに取り組み、実際に自分の手で書いてみるという練習を必ずしてほしい。

② 語彙力

読解力はもちろん、英語の力の基本になるのは語彙の知識である。どれだけ語彙力があるかで英語の力が決まってくるともいえよう。まずは、

単語集の基礎～標準レベルを完璧に覚えよう。そしてさらに、教科書や問題集の英文の中で、生きた形で使われているものにできるだけたくさん触れよう。そうすることが本当の語彙力のアップにつながる。

3 文法・作文力

空所補充や、語句整序が頻出であるが、いずれも基本的な文法事項、熟語、構文が中心である。それらを学習しながら、『Bright Stage 英文法・語法問題』（桐原書店）などの問題集で類似する形式の問題にあってみるのがよいだろう。A日程の英語専攻は和文英訳が出題されているが、基本的には同じ勉強法でよい。『大学入試 英作文 ハイパートレーニング 和文英訳編』（桐原書店）などに取り組み、重要構文を例文ごと覚えるのもよい学習法といえる。

4 会話文

日常会話でよく使われる定型表現をしっかり身につけておくこと。空所補充では空所の前後の文に気をつけるとよい。特に疑問文が頻出なので、疑問文の種類とその考え方について、時制や助動詞に注意しながら学習しておいてほしい。

日本史

▶一般選抜A日程

年度	番号	内 容	形 式
2023	[1]	大和政権による中央集権国家の形成	記述・選択
	[2]	鎌倉幕府（100字：使用語句指定）	記述・選択・論述
	[3]	江戸時代の対外政策	＜地図＞ 配列・選択・記述
	[4]	「ベルツの日記」—近代日本の史料と資料 （100字：使用語句指定）	選択・記述
2022	[1]	飛鳥・白鳳期の文化	記述・選択
	[2]	遺跡から見る中世・近世の歴史	選択・記述
	[3]	田沼時代の政治	選択・記述
	[4]	「民撰議院設立の建白書」—自由民権運動（120字：使用語句指定）	記述・論述・選択

傾 向 史料問題は必出！ 分野別の学習に重点を

① 出題形式は？

大問4題の出題で、試験時間は60分。解答形式は、基本的に選択式と記述式で、2022・2023年度は選択法が多めに出題された。また、論述問題が出題されている。

例年、史料問題が出題されており、ここ数年は大問1題についてリード文に史料を用いる形式が定着している。教科書や史料集に掲載されている史料以外にも、新聞記事などが問題文に引用されたこともある。2023年度は史料や視覚資料を多用した会話形式の出題があった。

② 出題内容はどうか？

時代別では、古代から現代まで幅広く出題されている。原始・古代、中世、近世、近現代から1題ずつ出題されることが多いが、複数の時代にまたがる通史もみられる。

分野別では、政治史、外交史、社会経済史、文化史の4分野からバランスよく出題されている年度が多い。

③ 難易度は？

全体としては教科書で太字になっている基本的事項を中心とした出題が多いが、なかにはかなり詳細な内容を問う問題もみられる。史料問題は頻出史料からの出題が多いが、史料本文の空所補充問題では、細かな知識を問うものもしばしばみられるので、注意が必要である。試験では基本的な問題は手早く解答し、史料問題や論述問題に十分な時間をかけられるようにしよう。

対 策

① 教科書を中心とした基礎的学習

日本史学習の基本は教科書を徹底的に読むことである。太字の重要歴史用語・人名を基本に、前後の歴史的背景も確認するとともに、図表や脚注にも注意しながら、丹念に読んでチェックし、論述問題を意識しながら自分の言葉で説明できるようにしておこう。

② 史料問題対策

教科書に掲載されている基本史料については、どの時代のどのような事柄に関する史料か、出典名は何かなどといった内容を理解すること。学校で使用している史料集を活用するとよい。もしも使用していない場合には、『菅野の日本史必出史料』（文英堂）などの史料問題集を活用して、出題のポイントを押さえておくことも大切である。

③ 歴史用語・人名の正確な表記

記述法の問題については、歴史用語を正確に書くことが大変重要である。また、歴史用語の読み方を問う問題も出題されている。一問一答形式の問題集を活用して、歴史用語を正確に読み書きできるように練習しておこう。

④ 分野別の学習

例年、政治史、外交史、社会経済史、文化史など、分野がはっきりした出題が多い。また、1つの都道府県の通史を取り上げた出題もみられる。教科書や年表を活用して政治・外交・社会経済・文化史などの項目ごとに重要な事項を自分でまとめておくことが望ましい。

世界史

▶一般選抜A日程

年度	番号	内 容	形 式
2023	[1]	8世紀の各地域	選択・記述
	[2]	十字軍時代（80字）	選択・記述・論述
	[3]	アヘン戦争とアロー戦争	選択・記述
	[4]	19世紀のエジプト（60字：使用語句指定）	選択・論述
2022	[1]	2世紀のユーラシア大陸（30字）	選択・記述・論述
	[2]	世界恐慌と各国の対応	選択・記述
	[3]	西欧中世封建社会（80字：使用語句指定）	選択・記述・論述
	[4]	中央ユーラシアの草原の遊牧民	選 択

傾 向

欧米地域中心の出題傾向 正確な記述力が必要

① 出題形式は？

例年、大問4題。解答個数は2022年度は47個、2023年度は46個だった。試験時間は60分。解答形式は、選択式と記述式を中心に論述問題も出題されている。2021年度まで頻出だった地図問題が、2022・2023年度は出題されなかった。

② 出題内容はどうか？

地域別では、2022年度は欧米地域・アジア地域が2題ずつであったが、2023年度は欧米地域が1題、アジア・アフリカ地域が2題、両地域融合問題が1題であった。

欧米地域はヨーロッパやアメリカが中心で、アジア地域は中国や西アジア地域からの出題が目立つ。2022・2023年度とヨーロッパ・西アジア・中国・東南アジアなど、ユーラシア大陸規模の幅広い地域を扱う大問が出題されている。

時代別では、教科書の章や節に沿って比較的短期間の時代が大問として設定される傾向が強い。

分野別では、政治史・国際関係史が中心となっているが、文化史からも出題されている。

③ 難易度は？

大半は教科書レベルの標準的な問題である。ただし、記述式の出題が必ずあるので、人名・語句を正確に記述できるようにしたい。また、論述問題では、使用語句が指定されることが多いので、論述の方向性はつかみやすいと思われる。試験時間のうちどれくらいの時間を論述問題にあてることができるか時間配分に工夫が求められる。

対 策

① 教科書中心の学習を

おおむね教科書の範囲から出題されているため、教科書を偏りなく熟読して基本的な歴史の流れを把握し、学習が手薄になりがちな時代・地域、分野をつくらないように心がけたい。また、重要事項に関して年代まで含めた正確な知識を身につけておくことが重要である。一方、自分の使用している教科書に言及されていない歴史事項を確認・理解するために『世界史用語集』（山川出版社）などの用語集も必ず併用したい。

② 正確な記述力の養成を

記述式が出題されているため、単に人名や語句を暗記するだけではなく実際に書けるようにしておく必要がある。特に、中国史における漢字は覚えにくいので、間違えやすい漢字を一覧表にまとめておくなどの工夫が必要である。

③ 文化史対策を怠らない

人名一作品・業績一その内容・年代、というように関連づけて押さえ、教科書や資料集に掲載されている芸術作品や建築様式はビジュアル的に理解し、覚えておくことが重要である。

④ 論述対策を

字数は2022年度が30字と80字、2023年度が80字と60字であった。指定語句が設定されることが多いので、重要語句を組み合わせて文章を書く練習に取り組み、論述力の養成に努めよう。

地 理

►一般選抜A日程

年度	番号	内 容	形 式
2023	[1]	地帯構造（50字：使用語句指定）	選択・論述
	[2]	人口 <グラフ・地図・統計表>	選択・記述
	[3]	アメリカ合衆国の地誌 <地図・表・視覚資料>	記述・選択
	[4]	北海道洞爺湖温泉の地形図（30字）<地形図・図>	計算・選択・記述・論述
2022	[1]	大気の大循環（30字、60字：使用語句指定）<図・視覚資料>	選択・記述・論述
	[2]	水上交通 <図・地図・統計表・グラフ>	記述・選択
	[3]	東南アジアの地誌 <地図・統計表>	記述・選択
	[4]	地形図読図（50字）<地形図・図・視覚資料>	計算・選択・論述

傾 向

地図や資料提示による問題が多出
基本事項の理解力がバランスよく問われる

① 出題形式は？

例年、大問4題の構成であり、解答個数は60個程度である。解答形式は、記述式と選択式が中心だが、計算問題がみられるほか、使用語句指定のある論述問題が例年出題されている。加えて2022年度以降、使用語句指定のない論述問題も出題されている。試験時間は60分。

② 出題内容はどうか？

教科書準拠の基本事項が全分野からバランスよく出題されている。用語や地名に関する知識を問う問題が大半であるが、アルファベットの略称名や日本語名の記述問題、国的位置を問う問題もみられる。

③ 難易度は？

教科書レベルの基本的な問題が大半である。一部にやや詳細な知識を要する設問も含まれるが、リード文を読むことで判別できる場合も多い。

対 策

1 基本事項の習得

まずは教科書をよく読むことである。太字で書かれている用語を中心にマーカーでチェックを入れて、文章全体を理解しながら用語を覚えるとよいだろう。次に、覚えた用語は『地理用語集』『山川一問一答地理』（ともに山川出版社）などで再確認すること。なお、記述問題に備えて、用語は正確に書くことができるようにしておきたい。さらに、教科書に掲載されている写真も確認しておこう。

2 地図帳の活用は不可欠

地図をベースにした設問が比較的多いことから、学習の際に地図帳は不可欠である。個々に内容を暗記するのではなく、学習した内容を地図帳を使って整理する習慣を身につけよう。

3 計算問題の対策

地形図の縮尺は例年出題されている。過去問や問題集にあたって、練習を積んでおこう。

4 地形図の対策

2022・2023年度と地形図の読図の問題が1題出題されている。日頃から地形図の問題や地図帳などで地図記号を確認し、読図に慣れておく必要がある。

5 統計に親しむ

統計学習で大切なことは、統計数値を暗記するのではなく、「なぜこれらの国々が上位にあるのか」ということを考えながら統計を読み取ることである。『データブック オブ・ザ・ワールド』（二宮書店）や『大学受験対策用 地理データファイル』（帝国書院）などは各種統計がコンパクトにまとめられていて便利である。

政治・経済

▶一般選抜A日程

年度	番号	内 容	形 式
2023	[1]	国際社会	選択・記述
	[2]	司法権	選択・記述
	[3]	現代経済と国民所得	選択・記述
	[4]	近代経済と労働問題（50字、120字：使用語句指定）	選択・記述・論述
2022	[1]	絶対王政と社会契約説の理論	選択・記述
	[2]	日本国憲法における基本的人権	選択・記述
	[3]	家計、企業、政府の経済活動	選択・記述・正誤
	[4]	外部性と情報の非対称性（120字：使用語句指定）	選択・記述・論述

傾 向

政治・経済分野とも選択・記述法中心
時事問題に注意

① 出題形式は？

大問4題の出題で、試験時間は60分。解答形式は、選択式・記述式が中心であるが、50字の論述問題や使用語句指定の120字の論述問題も出題されている。

② 出題内容はどうか？

例年、政治・経済の両分野からそれぞれ偏りなく出題されている。政治分野では人権問題や統治機構、民主政治の諸問題が頻出である。経済分野では需要と供給、貿易理論、戦後の経済体制・制度史が頻出である。また、基本的事項を問う中で、時事問題をあわせて出題している点に注意が必要である。

③ 難易度は？

難問はほとんどなく、大半が基本的事項からの出題である。一部に時事問題や仕組みの理解を問うものも出題されているので、暗記だけでなく、しっかりと問題の背景や仕組みを理解しておかなければ対応は難しい。実際の試験では、論述問題に十分な時間をあてるためにも時間配分

に注意が必要である。

対 策

1 基本的知識を身につける

基本的内容の出題が大半を占めることから、まずは教科書をしっかりと読んで内容を理解しよう。さらに、用語集を活用して言葉の意味を確認し、必ず書いて学習すること。例年、政治分野、経済分野とも偏りなく出題されているので、苦手分野をつくらないように、理解するまで繰り返し学習しておこう。

2 過去問研究を徹底しよう

過去問を繰り返し解くことで、頻出分野や時事問題の傾向が自然にわかってくるので、対策の重点もみえてくるだろう。政治分野では、特に国際政治や統治機構について、関係する憲法条文もあわせてマスターしておきたい。経済分野では、国内・国外を問わず経済体制や制度のあり方の変遷をしっかりと頭に入れておこう。具体的な年代を問う設問もみられるため、主要な事柄は年代とセットで学習しておきたい。

3 時事問題に関心をもつ

教科書の基本的知識とあわせて、時事問題がよく出題されている。学校で使用している資料集のほか、新聞やニュースなどを日々読んだり見たりするなど、今、世の中で何が起こっているのかという意識をもっておくことが大切である。

数学

▶一般選抜A日程

年度	番号	項目	内容
2023	[1]	小問3問	(1)式の展開 (2)不等式 (3)平均値と中央値
	[2]	2次関数	放物線の頂点, 放物線と直線の共有点, 最大値・最小値
	[3]	図形と計量	立方体を切る断面と断面とのなす角
	[4]	整数の性質	不定方程式の整数解
	[5]	確率	3つのさいころの目の和が9となる確率
2022	[1]	小問3問	(1)因数分解 (2)整数部分 (3)平均値と中央値
	[2]	2次関数	放物線の頂点, 直線が通る定点, 放物線と直線の共有点, 三角形の面積
	[3]	図形と計量	正四面体の断面となる三角形の面積
	[4]	整数の性質	2次方程式の判別式, 解と係数の関係, 2次方程式の異なる2つの整数解
	[5]	確率	コインにおいてさいころを投げるゲームに関する確率

傾向

基本問題が中心
題意の読み取りと確実な計算力が決め手

① 出題形式は？

大問5題が出題されている。試験時間は60分。解答形式は、B4サイズの解答用紙1枚に答えのみを記入する形式である。

② 出題内容はどうか？

出題範囲は「数学I・A」である。数学Aは、「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題となっている。数と式は絶対値や因数分解が、2次関数は最大・最小および直線との共有点についてよく出題されている。

③ 難易度は？

教科書の例題や章末問題程度の基本的な問題が中心であるから、試験時間中に十分完答できる分量である。グラフを図示する力や問題文を読み取って正しく図形を描く力も必要である。また、分数で答えさせる問題が多く、計算力が問われている。

対策

① 教科書の徹底学習

難問はほとんど出題されておらず、基本的な問題を確実に解くことが合格への一番の近道である。まずは教科書の例題を1題1題しっかりと解き、基本事項を完全に理解しておきたい。その上で、教科書の練習問題・章末問題を繰り返し解き、理解を確実なものにしておこう。

② 問題集の利用

学校で用いた問題集などでたくさんの問題を反復練習しておくこと。2次関数のグラフと直線についての問題、図形と計量（三角比）、条件付き確率の問題がよく出題されているので、これらの問題は、問題集を利用して慣れておく必要がある。

③ 計算力の充実

解答用紙に答えのみを記入する形式なので、確実で正確な計算力を養っておきたい。日頃から問題を最後まで自力で解ききること、無駄のない正確な計算の工夫をすることを心がけよう。

④ 条件付き確率の練習

例年、〔5〕の最後に、条件付き確率を求める問題が出題されているので、練習を積んでおきたい。

国語

年度	区分	番号	種類	類別	内 容	出 典
2023	一般A日程	[1]	現代文	評 論	書き取り, 読み, 語意, 箇所指摘, 内容説明(15字2問), 文学史	「辞書になった男」佐々木健一
		[2]	現代文	小 説	書き取り, 読み, 語意, 空所補充, 箇所指摘, 内容説明, 表現効果, 文学史	「窓」 堀辰雄
		[3]	現代文	評 論	書き取り, 読み, 内容説明, 空所補充, 箇所指摘	「日本語と外国語」鈴木孝夫
		[4]	古 文	物 語	語意, 古典常識, 口語訳, 指示内容, 人物指摘	「伊勢物語」
	一般B日程	[1]	現代文	評 論	書き取り, 読み, 箇所指摘, 空所補充	「教養としての言語学」鈴木孝夫
		[2]	現代文	小 説	読み, 語意, 欠文挿入箇所, 内容説明, 表現効果, 意見論述(50字)	「うどん屋のジエンダー, またはコルネさん」津村記久子
		[3]	現代文	評 論	書き取り, 内容説明, 空所補充	「絵本はこころの処方箋」岡田達信
		[4]	古 文	注 釈	文学史, 口語訳, 内容説明, 指示内容	「うひ山ぶみ」本居宣長
2022	一般A日程	[1]	現代文	評 論	空所補充, 箇所指摘, 人物指摘	「『文』とは何か」橋本陽介
		[2]	現代文	小 説	読み, 書き取り, 語意, 表現効果, 内容説明(15字), 空所補充, 主旨, 文学史	「貨幣」太宰治
		[3]	現代文	評 論	書き取り, 読み, 空所補充, 語意, 箇所指摘, 主旨	「安定からやりがいへ」阿部真大
		[4]	古 文	日 記	読み, 口語訳, 語意, 内容説明, 省略語補充, 人物指摘, 和歌解釈	「蜻蛉日記」藤原道綱母

(注) 一般選抜B日程は2023年度から掲載。

[1] [2] は全員が解答, [3] [4] はどちらか1題を選択して解答。

傾 向

現代文は文章の丁寧な読みが求められる
古文は基本的な知識の確認が必要

① 出題形式は？

一般選抜A日程・B日程とも大問3題の出題。必須の現代文2題に加えて、〔3〕、〔4〕は現代文と古文のどちらか1題を選択する形式である。試験時間は60分。記述式・選択式の併用である。記述式の内容説明問題は、字数指定があるものとないものの両方がある。

② 出題内容はどうか？

現代文では、評論、小説が出題されている。評論では言語に関する文章が頻出だが、それ以外の多様な分野からも出題されている。小説は、近代の著名な作家の作品が出題されることもある。設問内容は、書き取り・読みが頻出で、慣用表現にちなむものも多く、箇所指摘問題や空所補充問題も多い。記述式の内容説明問題もみられる。2023年度のB日程では、小説の登場人物に自分がかける言葉を考えさせる問題も出された。

古文は、教科書に掲載されるような有名な作品から出題されることが多い。語意、内容説明、口語訳などが出題されており、文法事項はもとより、古典の知識が広く求められる。

③ 難易度は？

現代文・古文ともに平易。現代文は文章が短めで、内容の明快なものが出題されている。古文は、文章は教科書レベルの標準的なものだが、古典常識の知識がないと難しい設問もみられる。1題20分以内を目安に、解きやすそうな大問から解いていくとよいだろう。

対 策

① 現代文

比較的平易な評論文や随筆、著名な作家の小説を中心なので、教科書の文章をしっかりと勉強すること。さらに新聞の社説、コラムや解説記事、寄稿記事などを日々読むこと。岩波新書などの新書を読んでみるのもいい勉強になる。読む習慣とともに、標準的な問題集で設問への対応をつけ、総合的な国語力を向上させていきたい。記述問題は、指示内容、

具体例、言い換えなどに注意し、文章の構成や流れ、つながりを把握することで、設問の要求する箇所を的確につかめるようにしたい。また、本文中の表現を用いて要領よくまとめる練習も大切である。なお、漢字の書き取り、読みのほか、慣用句や対義語・類義語も頻出なので、漢字の問題集による演習は欠かせない。読書も、漢字の読み書きや語彙力の向上につながる。文学史的な知識もある程度つけておきたい。

2 古文

基本的な文法知識（助動詞の文法的意味など）は必ずマスターし、そのうえで多くの古文に接し、文脈を読み取る力を養おう。基礎的な読解力を身につけるため、短い説話などで、話の流れを正確に追うことができるよう訓練しておくとよい。また、和歌や俳句も出題されることがあるので、和歌や俳句の含まれた文章も読んで慣れておきたい。さらに、月の異名や俳句の季語、基本的な語の読み、当時の習俗など、古典常識の基礎的な知識も増やしておこう。